

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 77 (年4回発行)

- 発行日 平成27年9月30日
- 発行 三春まちづくり協会
- 編集 三春まちづくり協会広報部会  
三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒寮)  
TEL/FAX (62) 3988

### 特別企画

## 『地域の再発見』

— 城下町三春の中心街散策路及び碑巡り —

三春中心街には七つの散策路があります。不動山散策路、桜谷散策路、龍穩・愛宕散策路、紫雲寺散策路、月斎館散策路、二の丸散策路、東館散策路の七つです。季節折々それぞれに趣があり気の向くまま、御夫婦で歩くのもよし、親子で語らいながら歩くのもよし、街なかの喧騒を忘れひとりで歩くのもよし、落葉樹の紅葉を見ながら散策路とその近辺の碑などを巡り、三春を再発見してみても如何でしょうか。今回より、散策の一助に散策路のコースごとの見所を紹介していきたいと思えます。案内は、地域部会長の鈴木武氏にお願い致しました。第一回は不動山散策路をご紹介します。(裏面)

### 中心市街地七つの散策路 始点と終点

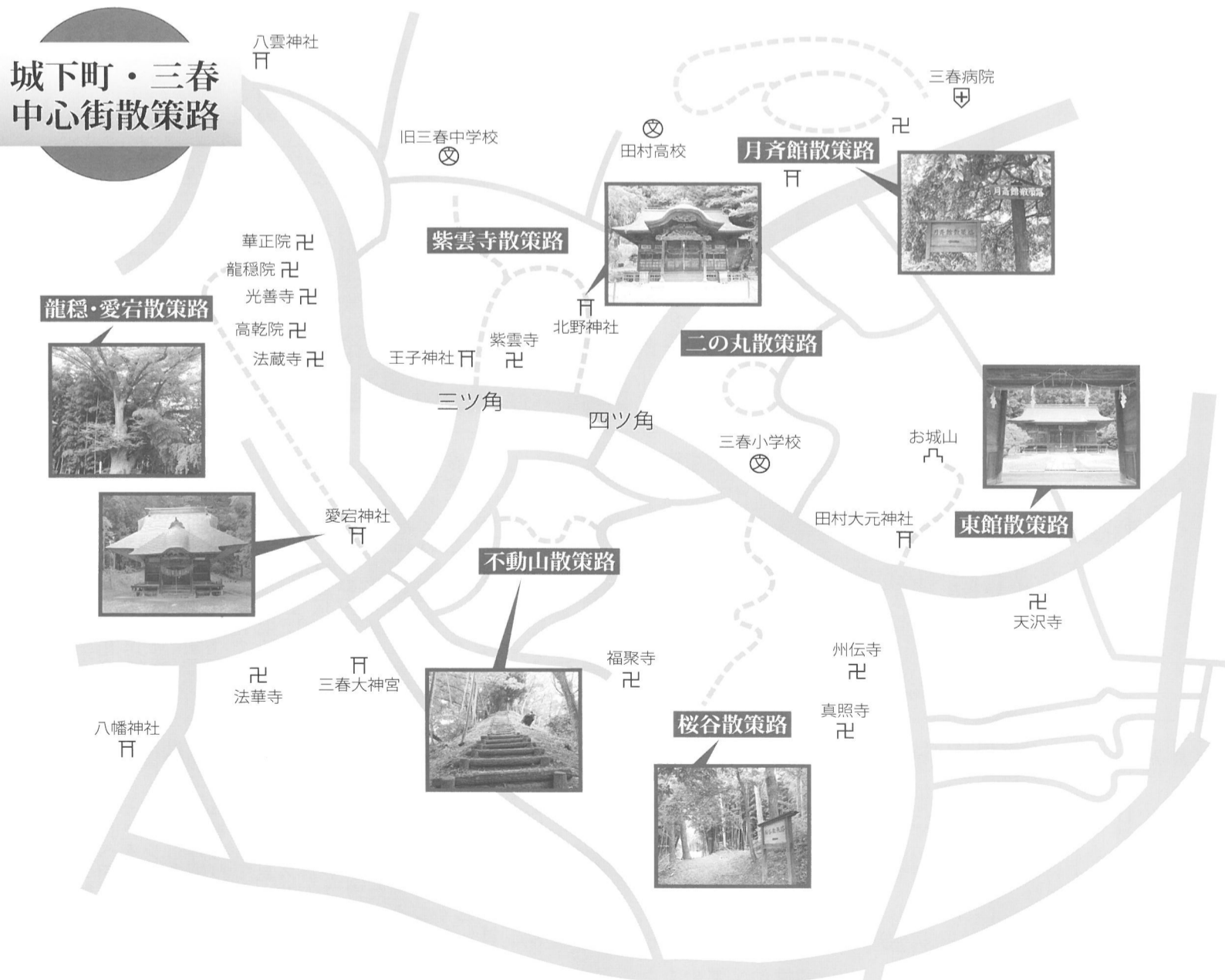
- ・不動山散策路・・・町民図書館裏～スカイライン～不動山より御免町横通り
- ・桜谷散策路・・・歴史民俗資料館～福聚寺上の道路
- ・龍穩・愛宕散策路・・・中町愛宕神社～荒町龍穩院
- ・紫雲寺散策路・・・旧三春中学校～紫雲寺～北野神社
- ・月斎館散策路・・・田村高校～光岩寺裏～三春病院入口
- ・二の丸散策路・・・三春小学校裏～お城山周辺
- ・東館散策路・・・お城山東側～田村大元神社

### ◎ 散策路ウォーク開催のお知らせ ◎

四季折々の景観を楽しむことが出来る散策路を観光ボランティアガイドの皆さんのご協力を頂き、秋の紅葉を楽しみながらの歴史散策を計画しましたので多くの方の参加をお待ちいたします。

- ☆期 日：平成27年11月10日(火) 小雨決行
- ☆時 間：午前9時～12時
- ☆集 合 場 所：旧公民館駐車場
- ☆散 策 場 所：二の丸散策路・紫雲寺散策路・不動山散策路等を巡ります。
- ☆募 集 定 員：30名
- ☆申 込 締 切 り：10月31日(土)
- ☆連 絡 先：三春まちづくり協会 事務局62-3988または090-8922-5445(栗原)

— 町民の皆さんの参加をお待ちいたしております —



# 城下町・三春中心街散策路の紹介 ①

## ～不動山散策路～

地域部会 部長 鈴木 武

歴史民俗資料館を見学し三春の歴史についてチョッと勉強した後、同資料館の裏門手前から桜川沿いの不動山を登り、町内を一望できる散策路を歩いてみよう。散策路は御免町の武家屋敷へ続くが狭い階段を下りる前の平地（今は畑になっている）が一番札所無量山清水寺跡で堂は西側にありました。明治期に廃寺となったあと、芹ヶ沢に移されたと伝えられますが、観音堂は来光院同様行方が分かっていません。下って低い石積みの敷地は旗本秋田家五千石代官所跡です。橋を渡って桜川の上流に向かって歩いてみよう。町屋の表通りは千本格子、奥は土蔵が多くありました。昔屋根はすべて板草葺きであったから、火災に備えて土蔵が造られることになったのです。戦前までは、丘から見下ろす町並みは海鼠（なまこ）壁の土蔵が立ち並ぶ光景であり、土蔵二棟を連結した郷土人形館は、「らっこコレクション」（※注1）を収蔵し、三春人形、みちのくの人形・こけしの優品を展示しているので必見です。人形館の向かいに武道館があったのですが平成の桜川大改修工事で取り壊しを余儀なくされ今はありません。この武道館の地は、来光院でありました。来光院の川前紫溪は還俗して剣術と漢学を教授していました。酒を嗜み竹



を愛したという。酒を一緒にする友達から杯を贈られることが多く、幕末の安政四年杯が百を越したため、遠くは福島からも客が来て書画と酒を満喫した百杯宴を開いたといひます。今でも不動堂と人々がよんだ護摩堂の下に百杯宴記の碑が立っています。

安積良斉（※注2）の撰文でこの山が不動山とよばれているゆえんであるといわれます。また桜川沿いの町道は石畳み舗装になっていますがこれは先に述べた桜川改修工事に併せて建設されました。車が通れるように広くなったのは戦後の事です。



（※注1）

「らっこコレクション」人形や玩具のことを云い、このコレクションは東北地方の郷土人形・郷土玩具を中心に蒐集されたものです。昭和初期に東北大学の学生であった中居淳氏が収蔵したものを後継者の高久田脩司氏によって保存された。戦後に橋元四郎平氏の「福島のこけし「らっこコレクション」図譜」で写真公開されたがそれまでは長い間目にすることが難しかったコレクションです。

（※注2）

「安積良斉」（あさかごんさい）1791年安積国造神社の神官の子として生まれた。二本松藩儒官を経て、幕府の儒官となった。門人には、小栗上野介・吉田松陰・高杉晋作など2282名がいる。ペリー（米）及びプチャーチン（露）が持参した国書を翻訳し、通商条約に貢献した人物。

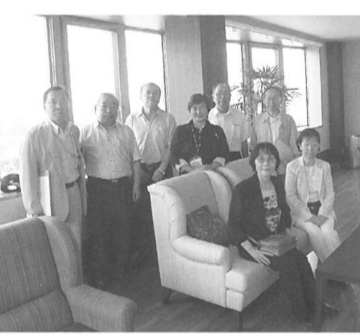
三十四番目の石柱  
「天神橋」を設置  
街並部会では、町内に伝わる地名の古称・由来を石柱に標し後世に伝える事業を実施しています。この度三十四番目として「天神橋」の石柱を設置いたしました。現在、国道二八八号線から北町の町営住宅への登り口

「天神橋」は二ノ丸の北の坂を登り切った所にあり、江戸時代の古地図にその場所が記されています。



「天神橋」は二ノ丸の北の坂を登り切った所にあり、江戸時代の古地図にその場所が記されています。

協会活動だより  
エルキューブ施設見学研修  
福祉部会 柳沼三雄  
福祉部会活動の施設ホームへの視察研修は五月二十八日福祉部会、平成二十七年の事業と今後の活動の進め方の中で話し合い、今一番関心がある（特に男性部員）健康寿命についてと云う事で、三春町大字山田の健院エルキューブ三春に決まり七月七日視察研修に行ってきました。支配人影山和子さんよりライフステーションエルキューブについて説明を受け、健康的な生活を目指す方々を応援するユニバーサル集合（賃貸）住宅で一般の方、どなたでも入居でき隣接されたレストランやフィットネスも利用できますとの事。利用料金は一ヶ月単位で利用ができ食事代、部屋代、管理費その他で月に十五万円から二十七万円と高額で自分にはチョット無理だと思つた。説明後エルキューブ内を見学、清潔、豪華で五階建てでまだ新しくホテルのようでした。三階と四階の部屋は個室が二部屋内部にドアがあり出入りでき夫婦で住めるようになっていた。一階にはエルキッズ保育園三春もあり視察見学、保育園内



七月二十一日平成二十七年年度区長会春季研修会と同じエルキューブ三春を施設研修に行ってきました。区長の皆さんも健康には気を配っているのが良くわかります。自分も古希になりました。男性の健康寿命は七十一歳まだまだ元気でした。皆さんも健康寿命を延ばすためお金のかからない運動歩きましょう。

水使いの荒い者は、人使いが荒い  
水道、水力電気と挙げるまでもなく水から受ける恩恵は莫大でこれがなければ生命を維持していけないし、一日も生活に欠かせない。水をじゃんじゃん荒つぽく使つて平気な人は、なんの思いやりも情感のない人と言われても仕方がないだろう。《節水を心掛けましょう》



「三春町のおいしい水」  
環境部会 佐藤誠之  
三春町に住み早二十四年が過ぎました。時の流れを感じます。当時は断水停電が発生した事が思い出されず。時には給水車が団地に来てポリタンクに水を入れて急を凌いだことがありました。今日に至っては老朽管の布設替も進んでいくとの事で安心して生活が出来るようになりました。三春町の地形は起伏に富んでいてため三つの配水池からの自然流下方式を基本に一部で増減圧をして給水をしていくとの事です。今回三春浄水場を見学して生物処理と活性炭吸着による高度処理施設によっておいしい水が作られる工程に感銘を受けました。水源悪化に備えて三春町でも技術革新の時代に向けて増々の発展を期待します。

「三春わが街」第七十七号  
発行日 平成二十七年九月三十日  
発行 三春まちづくり協会  
編集 三春まちづくり協会  
広報部 会  
三春町本庁舎裏（〇〇一）  
（六一）三九八八

編集後記  
今年一月〜七月に日本を訪れた外国人旅行者が一〇五万人だったとの推計が発表された。これは昨年の同時期に比べ四六・九%の増加だったそうだ。目的は日本食、ショッピング、温泉等を楽しむという。ことだが、外国人は、温泉をさでている方が多く、温泉地では困惑しているとか？  
▼外国人から見た日本のごいところベストテンは①治安が良い②富士山③温泉④新幹線⑤親切で礼儀正しい⑥回転寿司⑦電車⑧自販機⑨花火⑩桜、など▼魅力が何かと関心を持つようになった。最近ではマップを片手に、町内を観光している人の姿をチラホラ目にします。その方が多い。先日、一人歩きの方に目的地は分かりませんが、どちらからですか？とお尋ねしたら群馬県の方でした。▼出来れば、何故三春へ？魅力は何ですか？とお聞きしたかったです。必要以上にお話をしても失礼なので、おもてなしの心がその場を後にした。▼わが町の先人達が残してくれた素晴らしい歴史と文化を継承しながら後世に伝授していきたい。▼未来を創造した「通年型観光」を指し、空き家対策人口減少に歯止めを掛け、健康で賑わいのある街づくりを町民は皆願っているにちがいない。▼いつものウォーキングコースを時々逆コースで歩くと新たな出会いと風景が街三春の大切な宝だ。（橋本正幸）